

# 7月

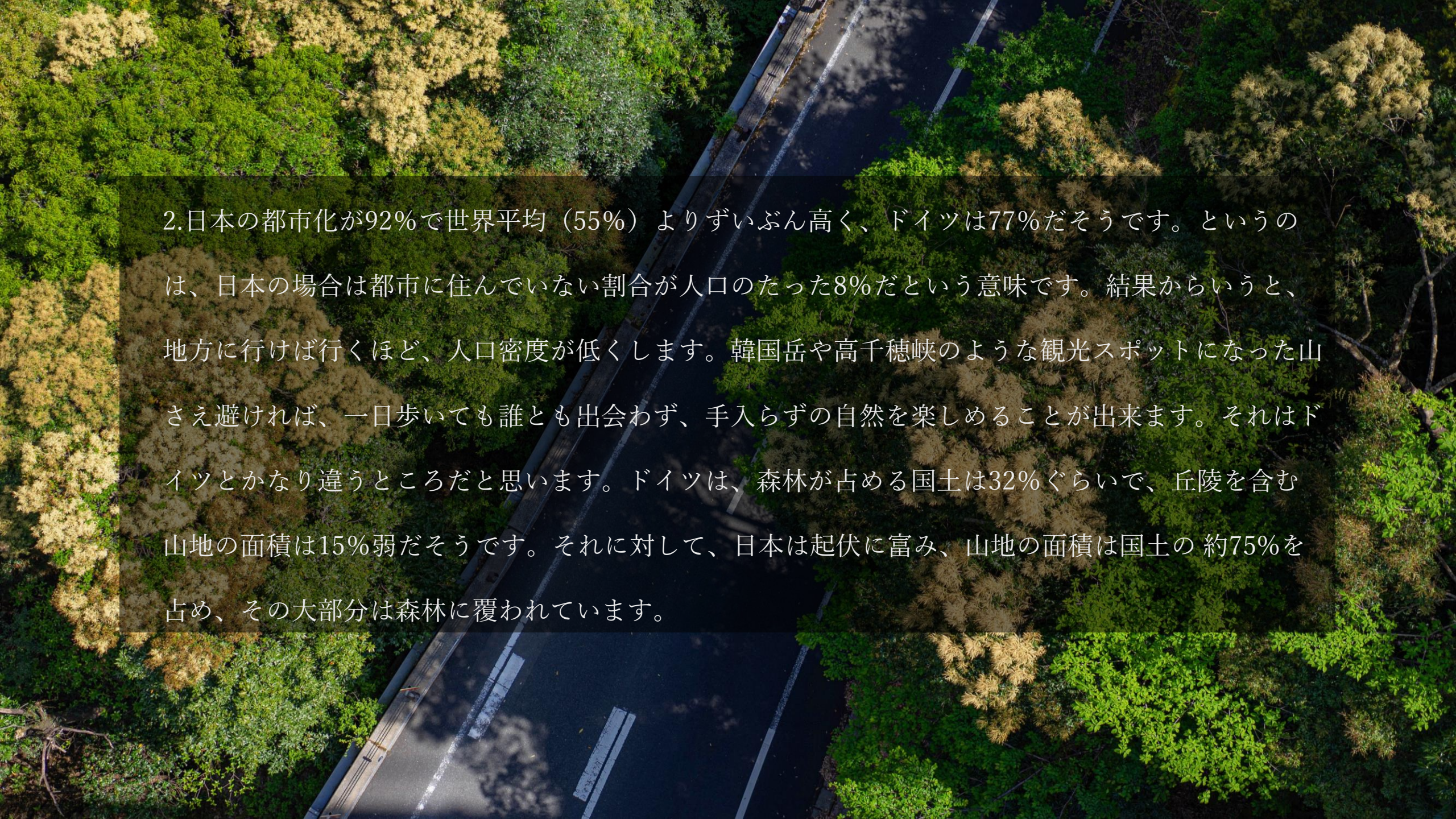
## 「Wald」

### アントニア・シュルト

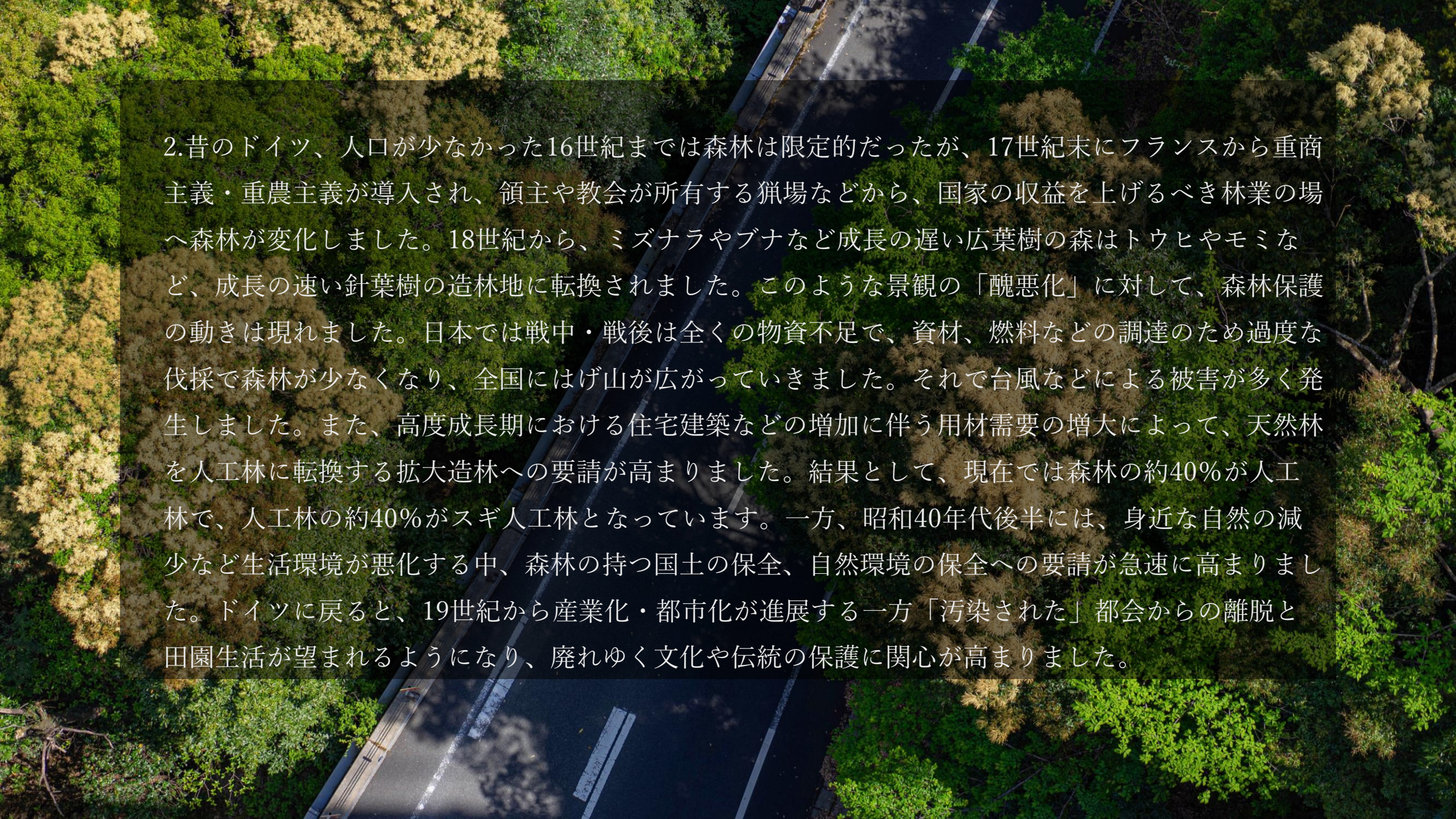
1.日本が外国人によってどう見られているか、どう思われているかという感覚から「なぜ日本に来ましたか」、「日本のどこが好きですか」と聞かれますが、元々文化や歴史に興味があったからと言って、そのことについて答えるのは相手の期待に答えようとしているだと思いません。本当は、自分の中では、そこまで明確になっていないかもしれません。日本の文化や歴史にはもちろん興味を持っていますが、何となく、そこだけじゃない！と感じるようになりました。

ドイツと日本を比べて違いがたくさんある中、日本は面積がドイツより少し広く、人口は4千万人弱ドイツを超えています。日本の人口密度が1平方キロメートルあたり338人で、ドイツ（238人）より高いが、日本の田舎はそれをあまり感じないところです。逆に、ドイツに住んでいた間、とても混んでいるように感じました。数字に戻ると、それは感覚の問題だけじゃないと分かります。




An aerial photograph showing a paved road with white lane markings cutting through a dense forest. The trees are mostly green, with some yellowish-brown patches, possibly indicating autumn or a specific tree species. The road is a two-lane road with a white dashed center line and solid white edge lines. The text is overlaid on a semi-transparent dark rectangular background in the center of the image.

2.日本の都市化が92%で世界平均（55%）よりずいぶん高く、ドイツは77%だそうです。というのは、日本の場合は都市に住んでいない割合が人口のたった8%だという意味です。結果からいうと、地方に行けば行くほど、人口密度が低くします。韓国岳や高千穂峡のような観光スポットになった山さえ避ければ、一日歩いても誰とも出会わず、手入らずの自然を楽しむことができます。それはドイツとかなり違うところだと思います。ドイツは、森林が占める国土は32%ぐらいで、丘陵を含む山地の面積は15%弱だそうです。それに対して、日本は起伏に富み、山地の面積は国土の約75%を占め、その大部分は森林に覆われています。

An aerial photograph of a road winding through a dense forest. The road is dark asphalt with white lane markings. The surrounding trees are lush green, with some taller, thinner trees visible. A semi-transparent dark grey box is overlaid on the center of the image, containing white Japanese text.

2.昔のドイツ、人口が少なかった16世紀までは森林は限定的だったが、17世紀末にフランスから重商主義・重農主義が導入され、領主や教会が所有する猟場などから、国家の収益を上げるべき林業の場へ森林が変化しました。18世紀から、ミズナラやブナなど成長の遅い広葉樹の森はトウヒやモミなど、成長の速い針葉樹の造林地に転換されました。このような景観の「醜悪化」に対して、森林保護の動きは現れました。日本では戦中・戦後は全くの物資不足で、資材、燃料などの調達のため過度な伐採で森林が少なくなり、全国にはげ山が広がっていきました。それで台風などによる被害が多く発生しました。また、高度成長期における住宅建築などの増加に伴う用材需要の増大によって、天然林を人工林に転換する拡大造林への要請が高まりました。結果として、現在では森林の約40%が人工林で、人工林の約40%がスギ人工林となっています。一方、昭和40年代後半には、身近な自然の減少など生活環境が悪化する中、森林の持つ国土の保全、自然環境の保全への要請が急速に高まりました。ドイツに戻ると、19世紀から産業化・都市化が進展する一方「汚染された」都会からの離脱と田園生活が望まれるようになり、廃れゆく文化や伝統の保護に関心が高まりました。

An aerial photograph of a paved road winding through a dense forest. The trees are mostly green, with some showing yellowish-brown foliage, suggesting autumn. The road has white lane markings and a concrete curb. A semi-transparent dark grey box is overlaid on the center of the image, containing white Japanese text.

3. 私の世代の中では日本人やドイツ人に関わらず、経済的に不安定な未来や気候変化といった課題を眺めながら、自然に近い暮らしや、出来るだけサステイナブルな暮らしをしたい気持ちでいっぱいだと思います。私だと、そういう望ましい暮らしは今ドイツというより日本でできていると感じています。だが、「日本のどこが好きですか」と聞かれるとき、どうしてもうまく言葉に出来ませんね。